

# 高すぎる国保税

「もう限界。引き下げを」と

## 小牧議員が迫る



国保税の納税通知書を見て「二年連続の値上げでこんなに高くなつては払えない」などの声が寄せられています。

小牧議員は、国保加入世帯の平均所得と国保税の経年変化を示したグラフを示しながら、1984年から2007年までの23年間に、平均所得は13万減っているのに、逆に国保税は一人当たり39020

### 年間所得200万円の場合

	H20 年度	H21 年度	今年度 (H22)
4人世帯 (夫婦2人子2人)	259600 円	298100 円	330400 円
単身世帯	170500 円	197300 円	221500 円

円だったのが、84367円と、約2.16倍になっていること。また守山市の場合、年間所得200万円4人家族の場合、2年前は25万9600円だったものが、今年度は33万4000円と2年連続値上げで大幅な負担増になっている事例を示しながら、「国保税が家計の中で重い負担となっており、国保加入者の払える限界を超えている。引き下げるべき」と迫りました。

しかし市長は「低所得者には軽減措置があり、支払限度を超えているとは理解していない」と冷たい態度に終始しました。

**木造住宅の耐震 バリアフリー改修に補助金**

木造住宅耐震・バリアフリー改修事業が拡充されました。県の補助基準が緩和されたため、現行の守山市減災改修事業と一体的な事業として、市内業者を利用した場合、補助金が加算されます。例えば、住宅リフォームとバリアフリーと耐震補強を一体で工事すれば、200万円の工事費に対して、最大60万円の補助。その時、市内業者に仕事を発注すれば、さらに10万円の補助が受けられます。

**市内業者利用すれば、補助金上乘せ**

...一般質問では、守山市職員の「自衛隊体験入隊」問題も取り上げました。小牧議員は、今年4月22日と23日、新人職員16名を高島市にある陸上自衛隊第2師団今津駐屯地で、2日間にわたり、雨の中の持久走のほか防衛講話や戦車の試乗などの体験入隊が強行されたことにふれ、「新人職員研修になぜ自衛隊が必要なのか」と問いただすとともに、「来年からは行うべきではない」と市に求めました。これに対して総務部長は「当初の研修目的は達成できた。内容を評価し次年度の計画を立案する...」と述べるにとどまりました。



改善へ

守山2丁目地先道路の側溝蓋が跳ね上がって通行に支障をきたしていました(写真下)が、連絡を受けた小牧議員が現地調査をもとに市に改善を求めたところ、左写真のように、跳ねあがっていた蓋を撤去し、溝に塩ビ管を入れて、その上にアスファルトをかぶせるなど改修されました。



跳ね上がった道路側溝の蓋

身近な問題でも  
要求実現へ全力



## 口蹄疫

宮崎県で発生した牛や豚の口蹄疫は、戦後最大の畜産被害となっています。日本共産党守山市委員会と小牧議員は5月26日、「近江牛」を守るために国・県と連携して、感染予防と防疫体制に万全を期すよう、8項目の緊急申し入れを行いました(写真上)。

感染予防と防疫体制の強化申入れ

### 「県立高校の統廃合計画 性急にしない」全会一致で意見書採択

賛成	反対	政和会										創政会		ネットワーク未来(民主)		公明党		無所属					
		小牧一美	小原敬治	池田真二	田中国夫	寺田武正	中島幸一	中野隆三	西村利次	菅井昌彦	森貴樹	藤木猛	赤井清司	高田正司	本城政良	富樫孝	奥野真弓	下村勲	山川明男	渋谷成子	大瀬洋子	広実照美	岩佐弘明

主な議案に対する各派議員の態度



3月議会で問題点指摘 補正予算で137万円計上

# 臨時の保安要員3名配置

2010年  
6月議会特集

改築中の守山小学校からエルセンターまで移動する子どもたち。教職員が付き添っていますが、非常に危険です。



ちよこつと改善

## 守山小学校改築

### 守山小とエルセンターの移動

改築中の守山小学校の子どもたちは、体育の授業時間、片道20分もかけてエルセンターまで移動しなくてはなりません。小牧議員が実際に移動の様子を見に行った時も上写真のように子どもの列は延々と続き、行き帰りだけでも疲れた様子でした。3月議会では小牧議員が移動の際の危険性を指摘しながら「安全確保を最優先すべき」と求めていたところ、6月議会の補正予算で、保安要員3名分137万円が予算化されました。



全面工事柵で囲われた守山小学校の運動場



臨時の運動場 こんなに狭い  
隣のお墓にボールが入らないよう  
防球ネットの設置を約束



日本共産党

小牧一美 守山市議会議員

6月議会報告

2010年 7月 発行 守山市議会議員 小牧一美

電話 077-582-3785 FAX兼用

## 地盤ゆるく工事内容変更 急ぎよ 追加予算

守山市の6月定例議会は、4日から23日まで開かれました。3月議会に引き続き高すぎる国保税について他党派も一般質問で取り上げるなど、国政ともかかわって社会保障としての国民健康保険のあり方が大きな焦点になっています。日本共産党の小

牧一美議員は、こうした国保問題をはじめ、守山小学校の移転に係る諸問題、すこやかまちづくり事業について、新人職員の自衛隊体験入隊について、地方税法の一部改正等について、一般質問で取り上げるとともに、委員会でも積極的に発言しました。

守山小学校と守山幼稚園の合築施設を建設するため工事が4月から始まりましたが、地

盤がゆるく工事内容を変更せざるを得ない事態となつてい

ま。基本設計段階では「予測の追加分約2800万円が必

要です。小牧議員は、急遽やり直さざるをえなくなつた原因はどこか、と問題点を指摘しながら追加議案には賛成しました。

## 全校児童がいつせいに使用するのは危険なので学年ごとの使用許可制に...

工事は、現在の守山小学校運動場に、小学校と幼稚園の合築施設を2年間かけて建設するもの。この影響で今年度から守山小学校運動場は全面使用不可となり、体育の授業は1キロも離れた生涯学習センター(旧守山女子高)の多目的広場まで歩いて移動しなくてはなりません。

体育の授業は1キロ離れた旧守山女子高の多目的広場で歩いて移動、時間もかかるし危険、万全な態勢急務

せん。体育の授業はこれで解消できたとしても、休み時間運動場で身体を動かすことができ

ない影響も心配されています。小牧議員は、3月議会に続いて、こうした問題点を指摘し、

改善を求めました。これに対して、「ドッジボールなどを希望する児童が多いことから、防球ネットと鉄棒の設置を予定している」と約束しました。

しかし、6月議会では2期工事の契約議決を求める議案も出されており、問題が明らかになった時点で、当然この工事も変更せざるをえないことは明らかなのに、小牧議員以外は、問題点を指摘することもなく賛成、可決しました。